

日本海に遊ぶ

京都大学水産実験所職員
上野 正博

カタクチの逆襲

けではありません。夏ていました。特に初夏の間、実習の潜水調査のころには、ミズクラゲが網に入り江でゲが網に一杯入って定置網が上げられないほど濃密なカタクチの群れをあちこちで見かけます。ところが、今年

ミズクラゲの餌(え)はカタクチと同じくプランクトン、おまけにカタクチの卵や子どもも食べてしまいます。ミズクラゲが少な

さ)はカタクチと同じくプランクトン、おまけにカタクチの卵や子どもも食べてしまいます。ミズクラゲが少な

このところミズクラゲにやられっぱなしだったカタクチが、逆襲に転じたのかもしれない。

くれば、餌は沢山になるし卵や子どもは食べられないしとカタクチにとっては天国です。

西舞鶴にある魚市場 けました。

には京都府下はもちろん、福井県の三方や世

久見の魚も集荷されてきます。その魚市場で

この夏、ちよつとした異変が起つています。

煮干しやお正月の田作(ごまめ)にするカタ

クチイワシがやたらに獲れているのです。

今年梅雨時分からカタクチがよく獲れて

いたのですが、例年ならがくつと漁獲量が減

るお盆過ぎになつても毎日のように10ト、20

トと入荷が続いていま

す。多いのは漁獲量だ

のミズクラゲが発生し

たのでしようか。詳しくは見ないと分かりませ

なことがあります。

ここ数年、日本海の

沿岸も瀬戸内海も大量

のミズクラゲが発生し

たのでしようか。詳しくは見ないと分かりませ



海の米、カタクチイワシ

カタクチは海の米とも呼ばれるほど、ブリやタイ、ヒラメ、サワラ、サバなどの餌として重要。瀬戸内海ではミズクラゲが増えてカタクチが減り、それを餌にするタイやサワラも減つたと、不景気の悪循環、デフレスパイラルをもじってクラゲスパイラルと呼ばれています。そのカタクチが大豊漁となれば、不漁の悪循環、クラゲスパイラルも解消してこの冬から来年にかけていろんな魚が豊漁になるかも。